

2024年12月24日 クリスマスイヴ礼拝

司 会
奏 楽
賛 美

「クリスマスオラトリオ讃美歌メドレー」 聖歌隊&オーケストラ
(久しく待ちにし)(荒野のはてに)(クリスマスオラトリオ)
(もろびとこぞりて)(アーメンコーラス)

主の祈り

聖 書 ルカによる福音書2章8～14節 (P85)

音 楽 THE SOULMATIC S

メッセージ 「普通の人に現れる神」 江口涼先生
(ヒルソング東京教会牧師)

賛 美 「きよしこの夜」(讃美歌109番) 献金

頌 栄 「ハレルヤ」 アーメン

祝 祷 大川従道主任牧師

報 告 キャンドルサービス

「きょうダビデの町に、あなたがたのために救主がお生れになった。このかたこそ主なるキリストである。」(ルカ二の十二)

祝聖御降誕！ メリークリスマス！

皆様の上に、神様の豊かな祝福をお祈り申し上げます。

2024年クリスマス 主任牧師 大川従道・道子

伝道牧会スタッフ一同

☆クリスマス当日礼拝は、25日朝10時半からです。大和駅送迎あり。(10時、10時20分)
説教者は、柴田順一牧師(元カナダ宣教師・現在は横浜カルバリーチャペル牧師)

* 初詣礼拝は、元旦11時のみ。説教は大川牧師。「イエス様の遺言メッセージ」
新しい年の基調メッセージです。ご期待下さい。記念撮影あり。マスクご遠慮なく。

石の枕

メリークリスマス！ 主の御聖誕を心からお祝いし、讃美をささげます！

ごく最近、故榎本保郎先生の「エッケ・ホモ(この人を見よ！)」という本が出版された。先生が天に召されたのは52才。病を抱えながら「主の用なり」と東奔西走した偉大な牧師。なんと私大川は、1977年はパットブーンと武道館で万人聖会をした年。先生は52才、私は35才の若僧。召天される前に、胡美芳さんたち有名音楽家たちと日本中を巡回した。あの「おしん」の映画の主役も一緒だった。札幌では榎本先生が病に倒れ、急遽、私が説教者として立てられた。聴衆には、三浦綾子さんがおられた。

さてこの御本の中に、主イエス様のご降誕を12月25日と決めたのは間違いという説があるが、あの日は真冬ならありえないと考えてのことである。

しかし、古代ユダヤの文献によると、神殿用の羊は過越の正月前にも放牧されていたとのことである。この神殿用の羊の羊飼いは真冬といえども羊の番をしなければならなかった。そうすると、12月25日説も考えられる。それはともかく、このような羊飼いは野宿のために神殿儀式に参加できないので、ユダヤ教から破門されていて、裁判の証言も許されていなかったそうである。いわばこの羊飼いは、人権を無視されたような、あわれな者たちであった。しかし、神はそのような者に、ご自身の秘儀を最初に伝えられたのである。天使は彼らに向かって、「あなたがたのために救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。」(ルカによる福音書2章11節)と語られた。

25日の説も解決され、貧しくも弱い者への福音の喜びの解釈が69年ぶりに解かれてハレルヤ！です。このクリスマスメッセージが深まりました。アーメン！



この日曜礼拝では7人の洗礼者で大きな喜びでした。来年は毎週でも洗礼式を行います。受洗前に、「お入りください！」というやさしくも分かりやすい小冊子があります。受付で無料で差し上げます。決心されたら、毎週でも洗礼式をいたします。お申し出下さい。来週の日曜礼拝、初詣礼拝を楽しみに！